

## 市民クラブ 市川 哲夫 議員

### 鈴鹿市の交通安全について

(質問) 全国的に増加している高齢者の交通事故について、本市はどのような対策をとっているのか。また、高齢者の運転免許証返納制度の推進を提案するが、本市の考えを問う。

(答弁) 市内における高齢者の事故発生状況は、平成27年の1年間で、743件の人身事故が発生し、このうち高齢者が関係する事故は200件に上り、

全体の26.9%を占めている。本市は、高齢者の交通事故防止を図るため、高齢者に対する参加・体験型の交通安全教育、反射材の普及啓発など、さまざまな対策を推進している。運転免許証の返納について、鈴鹿警察署管内では、平成27年の1年間に215件の申請があった。本市においても、交通安全運動の一環として、運転に不安を持つ高齢者に対しては、公共交通機関等の利用を促すなど、運転免許証の自主返納を推進しており、引き続き啓発活動の充実を図っていく。

## 緑風会 今井 俊郎 議員

### 空き家対策について

(質問) 空き家等が市民生活に悪影響を与えている。鈴鹿市空き家等実態調査の老朽危険度判定で、老朽化が進んでいて緊急度が極めて高い空き家と判明した102件の対策を最優先に行うべきと考えるが、今後の対応は。また、空き家バンク制度がスタートして1年が経過したが、現在の状況と今後の活用方針を尋ねる。

(答弁) 緊急度が高い102件の空き家から優先的に対応するとともに、特定空き家等については、空き家法に規定する必要な措置を講じていく。

空き家バンク制度への物件登録数は現在3件で、制度が空き家の所有者等に十分認知されていないので、今後、周知が必要である。

物件登録数の増加を図るために、空き家等実態調査のアンケートにおいて、物件登録の意向を示された所有者等に登録をお願いするとともに、広報誌などにより制度の周知に努める。この制度の充実を図り、空き家の流通を促進していきたい。

## 緑風会 藪田 啓介 議員

### 障がい者福祉について

(質問) 農福連携支援においては、本市の独自の取り組みとして、障がい者が農園芸に取り組むための支援である農業ジョブトレーナーの養成が行われているが、実績と目的はどうか。工賃向上のためには販売も重要であるが、市としての取り組みはどうか。障がい者の就労機会の拡大として、施設外農業就労の取り組みは怎么样了。

(答弁) 本市においては、現在11名の農業ジョブトレーナーがおり、農家と障がい者の橋渡しの役割を目指している。直売所の運営は一事業所では難しいが、本市では施設整備補助を行い、「こっち菜・デリ」では市内事業所で生産された野菜類を使用した弁当の製造販売を行っている。また、市役所1階でも、福祉施設で作られた野菜や弁当、パン、グッズの販売を行っている。

施設外就労について、新設の協議会組織でのスケールメリットを生かし農家で就労体験などを支援していく。

## 緑風会 山口 善之 議員

### 健康長寿(寿命)について

(質問) 市民が健康で長生きする社会の実現は、行政の最重要施策と考える。そのためには生活習慣病の予防、病気の早期発見・治療が必要であり、国民健康保険税が大幅に上がった今年、医療費抑制は待ったなしの状況である。

健康な体づくりの基本は食生活であり、5大栄養素をバランス良く摂取し、生活習慣病予防

の効果が著しい、野菜から食べる「ベジタブルファースト」を推進してはどうか。また、健康状態を確認する特定健診の受診率向上が不可欠であると考えますがどうか。

(答弁) 市民の健康づくりを推進し、維持増進、病気の予防のため、生活習慣改善の方法として野菜から食べるよう啓発を推進していく。

特定健診の受診率向上に向けては、今後も広報啓発、文書勧奨、電話勧奨などを実施しながら向上に努めていく。

その他の質問 ○まちづくり協議会について